

長屋談義 その19 天皇制を考える

クマさん「お～い大変だァ ご隠居さんいるかね～ どうなっちまってるのか聞きて～んだ。」

ご隠居「表からそんな大きな声を出さなくたって私のうちは狭いから聞こえているよ。いったい大変だとはどんなことかな。お前さんに愛想をつかして奥方が家出してしまったのかな。」

クマさん「そんな下世話な話じゃあね～って。テレビでやってたんだが天皇陛下がやめてしまうんだって、いって～そんなことができるんかい。誰がそんなことを仕掛けているんだね。天皇の地位ってのはどんなことなんだね。そもそも天皇制って～のはどういうことなんだ。」

ご隠居「そんなにいっぺんに言われたってひとことでは答えられないよ。天皇制そのものが日本という国の成り立ちの歴史的存在だから歴史を良く見て行かなくてはならないんだ。」

クマさん「また歴史かァ、手っ取り早く解説してくれね～かなァ。政府は皇室典範の改正に着手すると言っていたぞ。やけに手回しがいいんじゃないかあね～のか。」

ご隠居「クマさんもよく見ていたなァ。だけど首相やその周辺はあまり歓迎していないようだな。一部の評論家はこれで憲法改正はしばらく遠のくのではないかという見方もあるんだ。」

クマさん「エ～、どういうことなんでィ。」

ご隠居「つまり現在の皇室典範には生前退位という制度はないためこの改正のために時間が必要なんだ。自民党は憲法を変えて天皇を象徴から元首として規定しようという考えも以前からあるが、現状では改憲もそう容易ではないため、右翼や民族派の人たちが明治憲法へ復帰や9条の改正を求めても現在の国会議員の改憲派もそうした方向ではまとまらない。だから改憲派は当面、緊急事態条項を憲法に加えるという戦術でまとまっている。そうした折に皇室典範の改定ということになれば天皇制の在り方も時間をかけて議論しなくてはならないんだ。」

クマさん「いって～どういうことなんだね。憲法改正が必要なんかね。」

ご隠居「いや、**現憲法2条で『皇位は、世襲のものであって、国会の議決した皇室典範の定めるところにより、これを継承する。』**と規定されている

から憲法は関係ない。法律改正でいいんだ。ところが小泉内閣のころ、皇室典範改正案で女性天容認論が答申されたんだ。多くの賛成もあったんだが右派の反対も強く、皇太子の弟秋篠宮に男の子が生まれたためその議論は雲散霧消となっているんだ。しかしさっき言った生前退位ということは天皇の位を継承させるためには譲位ということになるんだが、江戸時代以前は譲位ということも、女性天皇も何人もいたんだ。しかし明治になって明治憲法では天皇が統帥権を有することになり絶対的な存在となり、譲位もなくなったんだ。」

クマさん「女の天皇も大勢いたんじゃないあ女性が天皇になってもいいんじゃないあね～かなア。天照大神だって女なんだろう。え～と、万葉集だっけ、持統天皇なんかもいたんだろう。」

ご隠居「よく思い出したね。学校で大化の改新と習った天智天皇派が蘇我氏を滅ぼしたころの以前の天皇も推古天皇で女性だった。その後即位した女性の皇極天皇は一度引退したが再度斎明天皇となっているんだ。さらに壬申の乱以降天皇となった天武天皇の妻だったのが持統天皇だし、その妹や娘が元明、元正天皇になっているんだ。」

クマさん「なんだ昔は自由に譲位したり女性が天皇になっていたんじゃないあね～か。なんでなんだかんだ議論しなくちゃあならね～んだね。」

ご隠居「ああ、いい質問だね。いいかね、いまの今上天皇、つまり平成天皇は当然ながら憲法の象徴という地位をととても尊重しているんだ。だからご自分の役割をよく心得ていて政治介入や、象徴としての役割を超えないように心配りを大切にしてきたんだ。だからご自分が高齢となりその役割を十分果たせなくなることも心配されているようだが、それでも“退位”と公に口にするわけにも行かないんだ。」

クマさん「なんだか、難しい話だなあ。」

ご隠居「だから政治介入にならないよう十分気を付けながらご自分のお気持ちを何らかの方法で表明されようとしたんだ。つまり天皇陛下が直接的な表現で意向を示すと国に制度改正を促したりして憲法に抵触するおそれがあるため、具体的に退位とか譲位とかの言葉を言うわけにはいかないんだ。天皇陛下がそれほど憲法に気を使っているのに政治家たちが勝手に天皇の意向を無視して憲法改正とか元首化とか言うから多くの議論が必要になってくるんだ。」

クマさん「でも国民の9割は生前退位を容認しているだぞ。右や左の旦那たちや評論家たちが勝手に怒ったり、あれやこれや議論をしてもしかたね～じゃアね～かなア。」

ご隠居「政治の方はいろいろな思惑があるんだな。だから天皇陛下が『平和、民主主義を守るべきこととして日本国憲法を作り、今日の繁栄をもたらした。』と記者会見したがNHKへの圧力でこの部分は削除して放送しているんだ。そうした事実を思い浮かべながら私たちもよく考えなければならぬんだ。それはこの国の形をどう作っていくか、という重要な話になるから単に評論家たちの問題じゃあないんだ。」

クマさん「そりゃ、どういうことなんでィ。」

ご隠居「ところが今度の天皇陛下のお気持ちの表明に対してや皇室典範改正には日本会議という団体の幹部が大反対をしてくるんだ。いま安倍政権は自民参院が単独過半数となり、衆参両方とも安倍政権与党が2/3を占めている。最近大きな話題となっているがこの安倍政権を支える日本会議という団体があるが、経済界リーダーや学者などが表の役員になっているが実務を支えているのが「美しい日本の憲法をつくる協議会」や「青年協議会」というかつて新左翼に対峙した右翼民族派活動家が牛耳って居る様なんだ。そして元号法制化や建国記念日祝日化、教育基本法改正、家族制度復活への運動を神社庁をはじめ宗教団体がこれを財政的、組織動員などで支援している、という実態が本にもなり大きな話題となっているんだ。この日本会議が女性天皇に大反対なんだ。いま皇室典範を改正するとすればこの点も避けて通れないんだ。だから生前退位を示唆することも憲法違反だ、と反対している。」

クマさん「え～、だって右翼ってのは天皇陛下様さまじゃあね～のかア。それが天皇陛下をボロクソニいうなんておかしいじゃアね～か。」

ご隠居「私だってそう思ったがそうでもないんだ。週刊誌などでも報道されているが“生前退位反対”、“皇室典範改正反対”を主張しているんだ。もっと言えば天皇陛下が憲法を大切にするという気持ちを語ると、“彼はアメリカ人（ヴァイニング夫人が家庭教師だった）に教育された国体破壊者だ。”とまで言って天皇陛下を批判しているんだ。」

クマさん「え～、そりゃほんまかいな。安倍首相も憲法改正で張り切って居る様なんだけどそんな団体に囲われているなんて確かかぬ。」

ご隠居「だからこの国の形をどう作っていくかがいま重要な時なんだ。戦後、

現在の民主主義、国民主権を基本とした現憲法のもとで復興発展してきたんだが、改憲を目指す人たちは、特に日本会議の人たちは基本的には明治憲法に帰れ、国家は天皇主権のもと国民を統合する国体が基本だ。基本的人権は国家の安定のためには制限されるべきだ。男女平等・夫婦別姓など許せないから家族制度を復活させる必要がある。といった主張により民主的市民運動を真似て草の根活動をやり、地方議会での決議を進めながら各種全国大会を開催しているようなんだ。」

クマさん「だけど大半の国民は民主主義の方がいいと思っているんだろう。戦前の姿に戻すなんて言ったって賛成する人間は少ないんじゃないかなア。」

ご隠居「だから日本会議の本音は天皇主権、国防軍設置だけど、今は象徴でなく元首とする、基本的人権も《公共の秩序に反しない限り認める》（自民党憲法草案）であり、元号法制化、建国記念日法制化、平成天皇ご在位五十年奉賛会、靖国神社公式参拝などの活動の実績に加えてさらに改憲1000万人署名などを推進しているんだ。」

クマさん「へー、そんなに活動をやっているのかア。安倍首相も元気を出すわけだなア。でも改憲と言ったって戦後70年も民主主義でやって来たんだからそう簡単に憲法を変えて自衛隊海外進出とか基本的人権を否定したりすれば同じ与党でも公明党なんかは飲めね〜んじゃないかなア。」

ご隠居「だから日本会議も安倍首相も、当面は9条には手を付けないで緊急事態条項を加える必要があるということアピールしているんだ。たとえば中国が尖閣列島へ挑発をかけているが、そうした危機感に乗じてそれに対処するためには緊急事態条項を安倍内閣（閣僚のほとんどが日本会議国会議員懇談会会員である）が存続している間がチャンスだとしているんだ。公明党国会議員もこの懇談会には入っているし、公明党は《加憲》という党是であり、受け入れる余地はあるんだろうね。」

クマさん「なるほど、飲みやすいことから順次変えていこうというやり方なんだなア。」

ご隠居「クマさんの云う通りだよ。野党側の人たちは憲法9条改正反対などと言っているが、国民レベルでは自衛隊合憲、日米安保は過半数が認めている。だから若い人たちも自衛隊設置を憲法に明記すればいいんじゃないかという人も多い。そこで政府は当面、集団自衛権のための

法制化により日米間の課題はクリアできているし、急ぐ必要はないはないし時間をかけていけばよいと思っている様だ。だから緊急事態条項や環境権を追加という加憲を行って改憲の投票に国民を慣らしていけばよい。もっと言えば国民投票なんていくらでも操作ができるという話もあるんだ。」

クマさん「え～、またまたおどかしっこなしだぜ。」

ご隠居「いや、私もびっくりしたんだが、話題となった東京都知事選で前知事の舛添氏の都内各区の得票率はその前任者であった猪瀬知事の得票率に各区ごとピッタリ48%なんだ。折れ線グラフで明らかになっているし、これを元外務省幹部であった孫崎亨教授が発表している。いくら各区、市町の政治感覚が同じであっても候補者が異なれば多少の違いが出るはずなんだが、まったくピッタリ同じなんだ。集計を行うソフトを操作すれば簡単に可能だ。これには私もびっくりした。これに対しての異議申し立てに対して東京高裁は門前払いだ。」

クマさん「よく衆議院選挙で最高裁の裁判官の投票があるが、あれなんかあつし

らにはわからね～から白紙で入れると信任になるそうだね。憲法改正も白紙は賛成とするならすぐ決まっちゃうなア。」

ご隠居「そうかも知れないな。日本会議の役員たちも国会で衆参両院が決議すれば、あとは自分たちの草の根運動で培った神社庁や地方組織を総動員して賛成の世論を作る自信があると言っているんだ。」

クマさん「そういや～あちらこちらの神社の宮司さんたちも神社庁から云われているので憲法改正について議論してほしいと言っているようだな。あれもそうした草の根運動なのかなア。」

ご隠居「神社庁も日本会議の有力団体だからそうした方向に動いていることは確かなんだろうね。だけど運動が進んでいる神奈川県でも実際に神社が改憲署名を進めたのは1割くらいだと書かれている。地域の神社は政党支持などはバラバラで共産党支持者だっている。自民党支持者でも戦争の悲惨な実態を直接体験したり、話を耳にしたこれまでの中高年は平和、民主主義の大切さは身に染みている。しかし最近の若い世代は、中国の脅威、韓国側のいわれのない誹謗、在日外国人へのヘイトスピーチ、人権軽視、政治経済の閉塞へのいらただちなどからネットのチャンネル2とかネット上での右翼的発言など保守的な言動への

共感が広がっている様だな。」

クマさん「そうなんですかい。あっしやーテレビしか見ね〜んでそういったものをみたことはね〜けどね。ところで靖国神社参拝っていうのはどうい問題があるんだね。」

ご隠居「靖国神社は国家のために戦死した人を祀るために明治政府によって作られ戦前は陸海軍が奉戴管理する神社だったんだ。だから神社側は再び国家管理に戻して天皇が祭祀を行ってほしいというんだ。だけど昭和天皇も、いまの陛下もそうした主張の神社を参拝することが政教分離の憲法に抵触する恐れと、靖国神社へ東条英機など太平洋戦争を始めた一級戦犯を合祀したことへの忌避もあり靖国神社への参拝をやめているんだ。」

クマさん「だから戦争で死んだ人たちを慰霊する施設を作ろうとしたんじゃないかっただけ。」

ご隠居「小泉内閣の時に遺族会からも不満が出て天皇陛下が参詣する非宗教の戦没者慰霊所の設置又は靖国神社を非宗教組織にしようとしたんだが、当の靖国神社も反対し、日本会議に結集する右派、民族派やなどが大反対運動を展開してうやむやになってしまったんだ。それと女系天皇を容認する皇室典範改正案も同じように反対運動によって葬り去られているんだ。」

クマさん「ふ〜ん、日本会議ってそんなに力を持っているのかね。」

ご隠居「いま日本会議国会議員懇談会へ290人を超える議員が参加しているというから海外の欧米メディアは、安倍政権は右翼ロビーに牛耳られているといった報道をして居るんだ。実際、日本会議の中心を担っている日本青年協議会は警察関係資料では右翼団体とされているんだが、事務総長、安倍総理のブレーンである日本政策研究センター所長、衛藤晟一内閣補佐官（参院）などの人たちは成長の家原理主義者\*で中心になって居る様なんだ。」（現在の成長の家は政治活動を絶縁している。）

クマさん「そりゃあ、て〜へんだ。日本は誤解されてしまうんじゃないか。日本人の大半が右翼的になってしまっているわけじゃあね〜んだろっが。」

ご隠居「そりゃあ、そうだが、それに対抗するべき党派や理念を持った政治的

勢力が弱くなってしまっているということなんだろうな。日本会議の人たちも同じことを言っている様なんだ。つまり左翼や労働組合などの力が弱くなり、自分たちが対峙した人たちがいなくなってしまったからだ、という。だから自分たちの考え方と同調する安倍さんたちと一緒に改憲運動もやれるようになってきたんだと言っている。」

クマさん「そうした人たちが本当に日本を戦前の様な形にすればいいと思っているんだろうかな。」

ご隠居「安倍総理のいう『美しい日本を取り戻す』というが、『美しい日本の憲法をつくる会』の主張は同じだし、安倍総理の有力な後継者とみられている稲田朋美防衛大臣も日本会議の有力な会員だ。が、やはり政治家だから戦後70年を経緯した現在、現在の憲法の枠組みを否定するわけにはいかない。だから問題がある部分を改正していくと言っている。が、日本会議としては《新憲法》という考えで統一させているんだ。つまり（ア）現憲法破棄→明治憲法復活、（イ）自主憲法制定、（ウ）現憲法を改正といったいくつかの潮流、勢力を統一させている考え方だ。」

クマさん「じゃあ、ご隠居さんはどう考えるんだ。」

ご隠居「いきなりふってきたな。私は現憲法は、太平洋戦争後、世界的な反戦理念やアメリカの占領政策もあったが反軍国主義、民主主義を確立させるという当時の政治家、圧倒的多くの国民が受け入れ、平和主義、民主主義を容認した憲法だということは否定できないと思うね。戦前を美化する人たちは主権在民を否定し、天皇主権を主張しているんだ。これは私としては受け入れるわけにはいかないな。改正しなくてはやっていけないような問題であるならそれがなんであるかキッチリ議論する必要はあるだろうけど。」

クマさん「だけど前の戦争はご隠居さんの考えでは、欧米植民地主義国に対して遅れて台頭した日本軍国主義が権益争いのため始めた戦争だが、東南アジアなど欧米の植民地が独立するきっかけを作った面もあったと言ったじゃないかね。」

ご隠居「クマさんもよく覚えていたね。アジア太平洋戦争では、植民地の独立運動があり、そうした国々の人たちを勇気づけたことは事実だと思う。欧米植民地主義と新興日本帝国主義の争いと言う側面があったのも事実だ。しかし自ら孤立な外交政策（国際連盟脱退、日独伊産国同盟な

ど) や強大な近代技術と圧倒的な資源、軍事力を持つアメリカを相手に戦争を吹っ掛けるなんて単純に考えて勝算があるわけではない。その結果310万人以上の国民が死んだ。そうした責任を抜きにして戦前に帰れ、美しい日本に帰れ、なんて言われてもああそうですかと言うわけにはいかないだろう。」

クマさん「そりゃあ、そうだが。やはり天皇陛下は必要だし、日の丸を国旗にしたのはいいんじゃないかな〜かなア。」

ご隠居「それは私も否定しないよ。だが国歌や国旗を憲法で決める必要はないだろう。今一番気を付けなくてはならないのはたとえば建国記念日を神武天皇の即位という神話を基にして決めたのはおかしいんだ。日本国が正式に日本を名乗るのは滅亡した百済救援のため白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗して朝鮮半島への足掛かりを失い、強大な唐の武力を恐れて恭順していたが、壬申の乱で勝利した天武天皇時代になって初めて『天皇』、『日本』の名を決めているんだ。それまではスメラミコト、倭国、和国と言っていたんだ。そして701年の大宝律令で明記し、それと併せたように『日本書紀』が漢文調でつくられて対外的にも独立国をアピールしたんだ。」

クマさん「それじゃあ、天皇制というのはどうやって出来てきたんだ。こりゃあ前にも聞いたかな。」

ご隠居「日本列島には1万2000年も前から縄文時代があり3000年前位には弥生時代と言う漁労稲作文化が始まっていることは前にも話しただろう。そして紀元3世紀には中国の記録、魏志倭人伝で邪馬台国の話が出てくる。最近の有力な説は邪馬台国の首都は現在の桜井市の広大な纏向遺跡と考えられている。邪馬台国と言うのは中国人が聞いてそう書いたのでありヤマト国なんだ。稲作で人口が増え、耕地が増え、部族国家から氏族連合国家の政治権力が生まれるんだ。しかし当時は朝鮮半島南部にも倭人の国があり、古墳時代になると北のツングース系の騎馬民族が高句麗、百済、新羅などの国を作り、これらとの連携、婚姻、対立と戦争などが続き、九州勢力がヤマト国を奪取するんだ。卑弥呼の時代は出雲系の海人族の尾張氏、海部氏などが実権を握っていた。これが銅鐸文化圏だ。卑弥呼の死後内乱があり北九州勢力である崇神系が実権を握り三輪王朝を作るんだ。さらにその後、騎馬民族直系の応神王朝系が鉄の文化を持って巨大な横穴古墳群を作り河内王朝を作り、遠く関東平野まで支配が及んだんだ。だから万世一系では

なくいくつかの王朝が交代しているんだ。」

クマさん「そういえば聞いたことがあるな。だけど神武天皇と言うのはどういうことだね。」

ご隠居「ヤマト国以前に南方から移住してきた縄文人も多くいた。縄文人と言っても主力は南アジアモンスーン地帯に共通する照葉樹林文化を担った人々だ。漁労や狩猟採取を行いながら粟、粟、イモなども作り、世界でも古い縄文土器をつくるなど素晴らしい文化を持っていたんだ。いまの日本人も4割近くは縄文人のDNAを持っているんだ。そのうち南方から来た人々は沖縄、南九州、紀州半島から太平洋沿岸へとコノハナサクヤヒメとか玉依姫とか各地に残る竜宮伝説の伝承を持ちながら広がっていたんだ。」

クマさん「へー、それじゃあ、神武さんは南方から来たんだ。」

ご隠居「神武伝説は南九州を中心に海人たちと弥生人との融合伝説であり隼人族などのリーダーが南紀や伊勢の方に黒潮に乗って本州海岸沿いに進出していた人たちの伝承を古事記、日本書紀に取り入れたんだ。これは古代史家たちが南方の伝説との類似性を証明しているんだ。これを葛城王朝と名付け物部氏との関連付ける説もあるんだ。」

クマさん「古事記ってのは誰が書いたんだね。」

ご隠居「大学者ともいえる京大名誉教授の梅原猛氏の説では、皇統を争った壬申の乱で勝利した天武天皇が柿本人麻呂に書かせたといい、これを原古事記と言っている。しかし天武亡き後その妻である持統天皇がわが子に天皇を継がせたいため百済系官僚の藤原不比等と組んで政権をにぎり、律令制度を確立させるんだ。そしてその妹である元明天皇も同じようにわが子を天皇にさせる原古事記の改ざん、日本書紀の制作をやらせているんだ。」

クマさん「えー、日本書紀までもそうなんだ。」

ご隠居「藤原不比等は、百済滅亡の折日本へ人質として来ていた百済の王子余豊が中臣鎌足でその子供だ。文明史家の川勝知事もそうした説を書いている。不比等は、さっき言った大宝律令で天皇の政治を太政官に委任する形でさらに娘を天皇の後として実権を握り、壬申の乱の主力軍事勢力であった物部氏、尾張氏、海部氏などが信奉するアマテルカミ（太陽神）を古事記、日本書紀で女性神に比して天照大神として海人

系倭人たちにお前たちの信じる神であるアマテル神は天皇の祖先なのだとし、伊勢神宮に天照大神を祀るようにしたんだ。しかもこれを作った持統天皇以降明治になるまで天皇には誰一人伊勢神宮に参詣させていない。つまり民衆が大切にしている太陽神をその神様に仕える巫女である\*オオヒルメムチ（大巫女の長）をすり替えて、これがお前たちの神様であり、天皇の先祖なんだというすり替えを行ったというわけなんだ。これらは梅原氏だけでなく多くの古代史学者も書いているんだな。」（\*日本書紀の別注にも書いてある。）

クマさん「また難しくなってきたぞ。要するに天皇はアマテラス神の子孫だというのは藤原不比等の陰謀だったというんだな。」

ご隠居「そうした解釈の方が合理的だ。世界中、太陽神は男神、月は女神だ。一般民衆は漁師など船乗り、農民などは太陽の恵みによって生きている実感がある。だから伊勢神宮はそうした人々によって敬愛されている。為政者は民衆の宗教心をも支配の道具にしていることは世界中古今東西同じだ。ところがそうした南方系や弥生系の太陽神を崇める風習を利用し、百済など北方系の騎馬民族の末裔\*は自分たちの先祖は天から降りてきたという伝説を利用して太陽神をアマテラスにすり替え、天皇やその集団は高天原から降りてきた子孫だという構造を古事記、日本書紀に取り込んで天皇の権威を利用して出雲系や海人系の以前の弥生人、縄文人の民衆を支配したんだ。おかげで亡命百済系官僚（貴族、武人、学者など）の藤原氏は1000年もの政治を思うがままにしてきたんだ。」（\*DNAでO3系）

クマさん「そんなことだったんだ。けど江戸時代も天皇陛下がお参りしなくてもおかげ参りなんかで一般庶民はお参りしてたんだろう。あっしだってお伊勢さんには何回も行っているし、好きだなア。」

ご隠居「私だって同じだよ。伊勢神宮だけでなく各地域の産土神や祖先神などを祀ってきたのは縄文時代、弥生時代を通じて融合してきた民衆の信仰だよ。天皇もそうした歴史的な存在として象徴というとらえ方は必要だよ。だいたい藤原不比等以来政治の実権は天皇にはなく、藤原一族や武家政治になっても象徴的権威を権力者に与えることによって貴族たちは生き延びてきたんだ。」

クマさん「そういや～、たしか天皇機関説ってのが問題になったな。」

ご隠居「それは軍部の山県有朋などが明治憲法で天皇に統帥権があると規定し、

昭和になって美濃部達吉が天皇の歴史や役割を学説として説明したんだが、昭和の軍部は自分たちが実際の実権を握っている実態を承知しながら批判を浴びかけてやめさせてしまったんだ。」

クマさん「批判した連中が天皇の権威を一番悪用したというわけかア。」

ご隠居「そうだともいえるね。だからいま明治憲法に帰れとか天皇を元首にとか、天皇主権に戻そうなんて主張する人たちは自分たちが戦前の様に基本的人権を否定し、思い通りに国や国民を牛耳るためにする議論ではないかと言う批判があるんだ。」

クマさん「じゃあ、やっぱり今の象徴天皇でいいんじゃないかね。」

ご隠居「そうだとも、それはいまの天皇陛下が一番望んでいることなんだと思うね。だから毎年のように陛下の新年の所感でも、平和、民主主義の憲法を大切にして日本の発展を願うと表明しているんだ。」

クマさん「だけど憲法を守る立場の安倍首相が改憲、改憲と叫んでいるわけだから天皇と安倍首相の対立みたいな感じだなア。」

ご隠居「クマさんもおもしろいことをいうね～。だけど今やそんな感じがするのはそれだけ憲法に対しての危機感を天皇陛下も抱いているんじゃないかな。だからこそ陛下はたびたび『満州事変をはじめ先の戦争を学ぶことは今後の日本の在り方を考えるために大切だ』ということをおっしゃっているんだ。安倍首相も天皇陛下のお気持ちや国民の共感を無視するわけにいかないので皇室典範改正を進めると表明したがね。」

クマさん「右翼が天皇陛下のご意向に逆らうなんて戦前の軍部とおんなじじゃあね～か。それが平然とまかり通っているなんて空恐ろしいこんだ。」

ご隠居「しかし、戦争体験も風化が激しく、政治に対する不信感が煽られ選挙は不正に操作され、糾弾すべきマスコミは政治的抑圧が強まり事実を隠し、伝えるべき真実が記事にはならない。一般国民は所得格差が広がり貧困層が拡大する中であきらめや無関心が広がっている。また中国や韓国などからいわれなき批判誹謗が寄せられると、それに対峙する安倍首相への支持も広がる。大半の国民はアベノミクスなんていうのは信じていないが、外交では奮闘している姿をみて支持しているんだろうな。」

クマさん「あっしだって中国や韓国の連中には頭に来ることが多いぞ。」

ご隠居「外交と言うのは基本的にはどう国益を守るかが問われるんだから、国益のために奮闘することは一国の総理大臣としては当然の勤めなんだ。そのあたりは安倍さんはうまいと思うね。私だってアメリカ側が懸念を伝えてもロシアのプーチンと親しく話し合いをすることは支持したいね。それに自分を取り巻くブレーンを増やし、一強と言われるくらいに国会議員、地方議員、宗教団体などの支援体制が強いため自信を持っているんだろうね。」

クマさん「さっき靖国神社の問題があったが、なんだか複雑でよくわからね〜が一体何が一番問題なんだかね。」

ご隠居「やはり明治になって宗教に国家が介入して大改革したんだ。古代においても国家が寺院を立てたりしていたがそれは自分たちや為政者のためのものだった。だから中世になってから民衆のための仏教や山岳宗教などがはやったんだ。それが明治になって江戸時代の神仏同居していた状態を『廃仏毀釈』として分離し、たとえば有名な興福寺なんか一時廃絶されたし、静岡の建徳寺なんて国宝級の仏像がたくさん残っているが廃絶されたんだ。そして神話に過ぎなかった神武天皇を祀る橿原神社を創建するなどして、伊勢神宮を頂点とする官幣、国幣、県社、産土（うぶすな）神社などに格付けしていったんだ。しかしいくら国家権力で抑制しても伊勢神宮以外の神を信じる地域や祖先神を祀る神社などは今も続いているし、伊勢神宮の外宮で祀る豊受神は五穀豊穰、商売繁盛でお稲荷さんとして民衆の間に広がっていたんだ。」

クマさん「そういや〜、江戸では“伊勢屋 稲荷に 犬のクソ”なんて言っていたくらいだからなァ。だいたい日本人の宗教心なんていいかげんだから正月には初詣、葬式は仏式で、クリスマスやら最近ではハロウィンなんてもんが流行っている様じゃあね〜か。」

ご隠居「そうなんだ。それも明治政府が信教の自由だといいいながら、神道は宗教ではない、といって国家管理を正当付けたり、仏教弾圧をしながら天皇の葬儀に仏式を行ったり融通無碍なんだ。そして時には従わないものを徹底的に弾圧したりしてきたから民衆の中には宗教に深く関わることを恐れ、『無宗教』を口にする人も多いんだ。」

クマさん「あっしもその口でさ〜、だから神社や寺にお参りに行ってもありが

とうさんですと心で思うだけだな。」

ご隠居「それでいいんだよ。日本人に宗教心がないということはない。世界中でこんなに神様のいる国はないし、仏教でも山川草木悉有仏性といい、あらゆるものに命があると言って人間が生かしてもらっていることを感謝するのが信仰心だ。むしろそうした素朴な民衆の信仰心を権力支配のために利用する動きに注意を払う必要があるんだ。」

クマさん「天皇陛下も先の昭和天皇が軍部に引きずり回されたことを戦後反省していたと言っていたそうだな。」

ご隠居「昭和天皇も政治関与を抑制したんだが、軍部の独走を止めることができなかったことに忸怩たる思いを伝えているんだ。戦後に軍事裁判が行われ戦犯が裁かれたんだが、連合国や米国本土でも天皇の責任を問う意見が多かったがマッカーサーはこれを退けたんだ。だから当時の東郷外相の孫である元外務次官もやった東郷教授は、極東軍事裁判を法的不当性があり、残虐な原爆投下や無差別爆撃を批判しつつ、天皇の無罪を立証するためにマッカーサーがこの裁判を利用したことで、戦後の民主制への移管がスムーズに行ったことを評価すべきとしているんだ。だからいまの陛下が政教分離や憲法を大切に思っていることは私たちにとっても重要なことなんだ。いま私が心配するのは江戸時代でも神話は神話、歴史は歴史、そのうえで日本人としての心の在り方を論じた本居宣長あたりより最近では神話をあたかも実際にあったかのように論じる人やそれを信じる若い人がいることだ。科学的な歴史観と文化としての神話を一緒にしてはならないんだ。」

クマさん「なるほどね～、なんだかあつしらの痛い所を突かれた感じだなア。」

ご隠居「それは学者にしたって同じだ。たとえば聖徳太子はいなかった、というのが現代の歴史学の常識であるが、信仰としての聖徳太子はいる。なぜかといえば藤原不比等にすれば親父の鎌足が殺した蘇我氏が行った全方向の外交政策を強引に百済救済に持って行った。その結果、倭国は唐・新羅連合軍に大敗して国の存亡の危機に陥れているんだ。民衆は蘇我氏の業績を評価していたから不比等は悪いことは蘇我氏の横暴で、いいことは厩戸の皇子を聖徳太子としてまつりあげたんだ。こうした説に対して学問的に反論すればいいんだが、個人的信仰で学説を無視している人が多いんだ。こうした歴史観の混乱が近代史の評価や現在の政治理念にも影響を与えているんだ。」

クマさん「ありゃ、またまた難しくなっちゃったなァ。それでもなんとなく天皇陛下のお考えがわかったような気がするし、憲法改正と言う問題が大変難しい問題だということがわかったような気がするなァ。」

ご隠居「それがわかればそれだけで大したもんだよ。確かに日本という国の成立がいくつかの王朝の変遷があったとしてもその後、天皇と言う権威をもって公家や武家の支配を正当化させながらも1300年以上続いてきたという歴史は否定できない。その後の紆余曲折がありながら天皇が国の象徴であったことも事実だ。後醍醐天皇など天皇親政を目指した動きもあったが、天皇は祭祀を行う存在でもあったんだ。それが明治維新の国際環境の中で次第に軍部が独走して天皇統帥権を悪用して政治をゆがめて軍国主義国家となっていっただ。」

クマさん「それを昔に戻そうなんていうことはムリスジってもんじゃあね〜のかなァ。そうはならね〜んじゃあね〜かなァ。」

ご隠居「クマさんが願望するのは分かるが、話はそう簡単じゃあないんだ。いまの政治環境は、アメリカの衰退とトランプ現象、イギリスのEU脱退投票をはじめギリシアなどの財政難等EU諸国の混迷、資本主義の行き詰まり、貧富格差の拡大、中国や韓国からの誹謗や侵犯などがあり、国内においてもこうした混迷の影響がもたらされているんだ。つまり世界的にもグローバリズムの弊害に対してナショナリズムが復興しているんだ。こうした状況の中で日本の役割は国連においてはいまだ敗戦国と言う位置づけの中で発言力は発揮できていない。だから現憲法は敗戦思想にとらわれているという批判もあり、日本会議の側に言わせれば敗戦史観の見直し、靖国神社に示される大東亜史観、天皇主権の国家史観などが必要だという考えが根強く続いて力を増しているんだ。だからと言って戦前の明治憲法や軍国主義に戻すなんてことを受け入れられるかね。」

クマさん「ふ〜ん、そんなこたァ あっしだってごめんだね。」

ご隠居「だけどアメリカの占領政策によって作られた憲法でなく自主憲法を制定して、国家としての独立の気概を持った国づくりを進めなければならないと言うんだ。もちろん日本会議の思想を代表する国会議員の一人である稲田朋美防衛大臣も『私は講和直後ならともかく今の憲法を基に戦後70年の態勢が全部作られ、それを根底から覆すことはやるべきではないと思います。変えるべきは変えるということでしっかりと民主的手続きを取るべきだと思うのです。』と政治的立場もあり、日本

会議の中核とは多少違うということ述べているんだ。」

クマさん「なるほど、でも改憲については自信を持っているというわけなんだな。」

ご隠居「だが怖いのはヒトラーだって民主的な選挙で選ばれて全権委任法成立で民主的憲法を停止して独裁体制にしたんだ。いま日本人は重大な岐路に立っているといえるんだらうな。歴史や憲法の問題はもちろんだが、そのスタートであるアジア太平洋戦争の総括、基本的人権のゆらぎ、平和維持のための方策の対立がある。そうしたことの基本に国家観の相違があるんだ。」

クマさん「あ～、またなんだか難しくなってきたぞ。」

ご隠居「じゃあ、クマさんにもわかるようにかいつまんでいくか。つまり国家と言うのは必要悪だが社会福祉の推進に必要だ。だから世界中の国は昔も自分たちの住んでいる所や食料などの財産を守る役目があったし、収穫や安全を神に祈る役割もあったんだ。そこから巨大な権力が生まれると国家自体が民衆を抑圧したり、支配するようになるんだ。だから英国の立憲制やフランス革命で民主主義が生まれてきたのはクマさんも知っているだろう。ところが近代にはプロシヤの絶対王政や帝国主義や社会主義国家が生まれると反作用でドイツなどの全体主義（ファシズム）が生まれてきたんだ。

その結果、第2次大戦では①植民地主義国家同士の利権争い、②民主主義対全体主義の戦い、③反植民地、民族独立の運動などが錯綜し、戦後は国際連合が生まれたが、冷戦やその後の各地での争いは尽きず、理想を迫ったわが国の憲法を実現する客観的な状況に変化があることは事実だ。自衛隊の評価も現在は合憲ということで合意されている。だから自衛隊を憲法で明文化してもいいんじゃないか、という若い人たちの意見もある。しかし大半の日本人は自衛隊が軍隊として海外に進出して戦争に巻き込まれることを恐れているし、それ以上に平和を維持してきた日本の役割の重要なことも痛感しているんだ。」

クマさん「だから苦肉の策で集団自衛権の法制化が行われたというわけかア。」

ご隠居「そうした面もあるだろうね。だけどもう一つ重要なことは、さっき言った国家は国民を抑圧したり、人権を無視したりするから憲法で足枷をしようと言うのが立憲制だ。しかし明治憲法は、天皇の軍事統帥権を規定したため軍部がこれを根拠にして独走することになってしまっ

た。だから戦後はこうしたことを反省して立憲民主制となったんだ。」

クマさん「じゃあ、改憲を目指す人たちはそれについてどう言っているだね。」  
ご隠居「明治憲法は立憲君主制で、天皇が国権を持つんだが、現在の憲法は主権在民、という大きな違いがあるんだ。だから日本会議の人たちが明治憲法へ戻そうと言っても、同じ改憲を主張する自民党も手続きを否定するわけにはいかないんだ。日本会議は家族主義の復活で女性は家庭を守る役割がある、と言う考え方だ。だから女性天皇や夫婦別姓などの反対運動をやって来たんだ。そのうえ基本的人権は公共の秩序のためには制限できるものとしているんだ。だけど女系天皇を否定すると天皇制を維持すること自体が難しくなるんだ。」

クマさん「ふ～ん、右翼の方が天皇制を否定してしまうんだ。だけど障害者を大勢殺してしまうような事件があるとそうした恐れのある人間の人権を制限する動きも出てくるんだろうな。」

ご隠居「うん、さすがクマさん、いいところを言うね～。たしかに今の世相を見ると凶悪犯が増えて居る様にみえるだろう。ところが江戸時代や明治時代など昔と比べてそうした犯罪は減って居るんだ。いまはマスコミが発達していて事件があるとすぐに報道されるから多いように見える。だがそうした犯罪を未然に防ぐ努力は必要だ。それをどう実現するかは問われるところだね。」

クマさん「いって～、国と言うのはどう考えたらいいいんだろかね～。」

ご隠居「昔は夜警国家論と言って、国家の役割は犯罪を防ぐための夜回りだけやっていたらいいんだ、と言う考えを理想とする時代もあった。しかし、現在は防犯、防衛、教育に加えて医療・社会福祉も重要な課題だ。そのための公共事業なども加えた大きな政府と最小限度の小さな政府と言う考え方の対立もある。」

クマさん「う～ん、だからそれを決めるのは国民だ、というわけかア。」

ご隠居「まさにそうなんだね。そのために議論を重ねることは重要だ。それぞれ賛成、反対論を交えて意見交換できればいいんだが、最近のヘイトスピーチやネット情報交換の場などでは匿名ということもあり自分と意見が異なるものに徹底的な悪罵、レッテル張り、攻撃が行われるといった風潮があるのが気にかかるね。安倍総理もよく『以和為貴』と書いている。先に言ったように日本は12000年前の縄文時代、3

000年前の弥生時代からDNAが13種あるくらいに世界各地から来た人の混合であり、融合してきたんだ。だから中国側が倭人など卑下したから国名を和と変更しているんだ。明治政府だって『万機 公論に決すべし』との理念を掲げたんだ。だからこれからも和の精神で議論していくことは大切だと思うね。」

クマさん「だから政治家がもっと国民のリーダーとしてしっかりしてもらわなくちゃあなア。」

ご隠居「まったくその通りだよ。先日も都議会議員が自宅を自民党支部事務所だからといって都税で家賃を払っていたようだが、国会議員もお粗末な話しかできない人もいて多くの国民を怒らせたりしている。日本会議の人たちも日本の現在や行く末を憂いているなら所属している日本会議議員懇談会にはいつている人たちの道義や私利私欲の国会議員のモラルを高め、税金の無駄遣いをやめさせたり、財界やアメリカ流ハゲタカファンドに貢いだり独占的利益優先をやめさせたりすることに力を注ぎ、まず“美しい日本の政治”を作るよう運動すべきではないのかな、と思うね。」

クマさん「つまりご隠居さんの考え方は、憲法改正の前にもっとやるべきことがいっぱいあると言いたいんだね。そのためにみんな和となっていってわけだね。」

ご隠居「そうなんだ。今の日本の現状を憂うことはいいだろう。左翼や右翼でもないみんな仲良くだ。寛容の精神が大切だ。その精神で日本は発展してきたし、企業だって日本的経営で二宮尊徳思想にのっとりながら発展してきたんだ。ところが最近ではアメリカ型新自由主義といってマネーゲームや正規雇用を減らし企業の収益第一主義になって格差が拡大してしまっているんだ。右や左の人たちもこうしたところからもっと議論をしたほうがいいんだ。私も尊徳思想を学ぼうと書いたりしているんだがね。日本人が戦禍や多くの災害を乗り越えてGDP第2位、3位と維持してきたのも国民一人一人の勤勉、工夫、質素な生活努力があったからこそであり、東日本大震災の折も世界中から沈着な対応は驚嘆の称賛を受け、クールジャパンと言われる日本人の生活文化やモラルは各国の人たちから評価されているんだ。」

クマさん「なるほど、あれやこれや和解できない議論より日本をどうしたらいいのかを具体的に話し合うことのほうがいいなあ。それなら、あつし

だって言いたいことがいっぱいあら～な。」  
ご隠居「ほう、クマさんが言いたいことってどんなことだね。」

クマさん「もっと若い連中が結婚して暮らしていける様にしてやってくれって  
言いたいんだ。年収200万円世帯が3割だの、生活保護がどんどん  
増えているなんて昔では思わなかったぞ～。」

ご隠居「本当に私もそう思うよ。まあ、今日はこの辺にしておこうかね。」  
(平成28年8月8日)

<閑話休題> シルバー川柳より

- いい夫婦 今じゃあ どうでもいい夫婦
- “放さない” 10年経つと 話さない
- “先を読め” 言った先輩 つまづいた
- 草食と 言われる息子は カネを喰う
- 妻の声 昔ときめき 今はためいき
- 業績を 上げるつもりが ネをあげる
- 恋かな と思ったら 不整脈

<あとがき>

・最高指導部である常務委員会廃止提案で、一時中国の習近平の失脚のうわさが流れたほど中共の激しい権力闘争は習派の勝利のようだ。軍部依拠の独

裁国家の行く末はいずこへ。おりしも尖閣列島への挑発が激しくなってきた。

- ・ I S へ肩入れさせられたトルコのエルドアン大統領への批判は、ロシアのプーチンにひざまずいたことへのアメリカの不満が先だったようだ。海外ニュースではクーデターの背後に C I A 介入説が多い。

- ・ 天皇のお気持ちへの理解と皇室典範改正への国民の支持は 90% を越えている。さて今後どのように議論が行われるであろうか。

- ・ アメリカ大統領選、問題はクリントンもトランプもアメリカの力の減退と混迷を象徴している。ほくそ笑んでいるのが中国だろう。EU もイギリスも混迷だ。せめてプーチン来日で講和、領土、交易など東アジアでのシフトチェンジの実現を期待したい。

- ・ 一番激動しているのが環太平洋火山帯の噴火や大地震の地殻的変動の連続だ。巨大地震発生への不安は強い。フォッサマグナ（大地溝帯）と中央構造帯（熊本まで続く）のど真中へトンネルを掘ってリニアモーターカーを通すという超危険な計画に国も財政支援を行うという。百年の愚策とさまざまなプロジェクトにかかわってきた橋山教授が言う。